



VSM の移行

この章では、Virtual Supervisor Module (VSM) を Cisco Nexus Cloud Services Platform 製品ファミリーに移動または移行する方法について説明します。内容は次のとおりです。

- 「VSM の移行について」 (P.5-1)
- 「注意事項および制約事項」 (P.5-3)
- 「Cisco Nexus Cloud Services Platform への VSM の移行」 (P.5-3)
- 「移行の確認」 (P.5-6)
- 「仮想スーパーバイザ モジュールの Cisco Nexus Cloud Services Platform から ESX サーバへの移行」 (P.5-7)
- 「その他の関連資料」 (P.5-9)
- 「移行機能の履歴」 (P.5-9)

VSM の移行について

Cisco Nexus Cloud Services Platform をインストールしたら、VSM を仮想マシン (VM) から Cisco Nexus Cloud Services Platform に移動または移行できます。

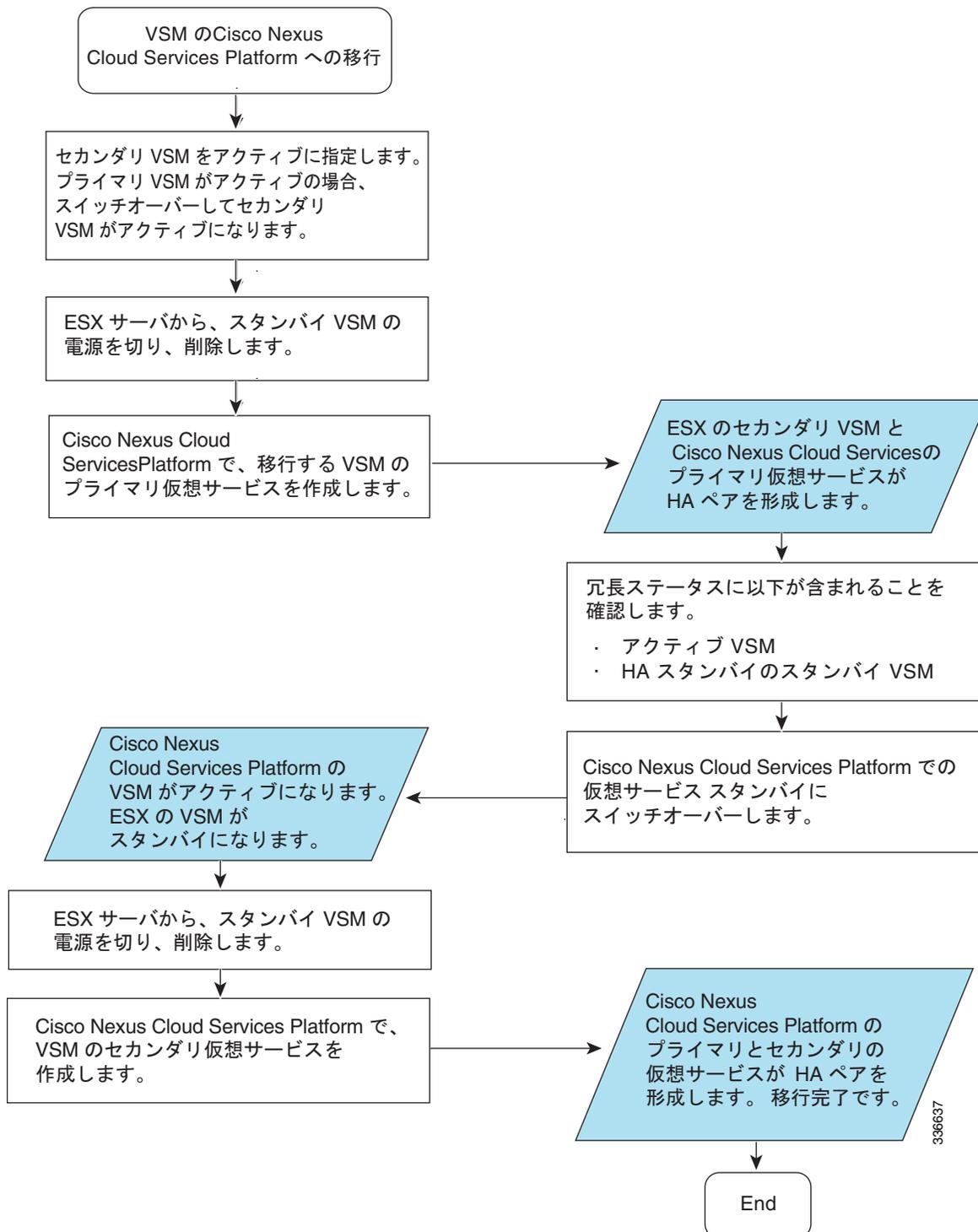
図 5-1 に、VSM を Cisco Nexus Cloud Services Platform に移行にするプロセスを示します。



(注)

図 5-1 では、ESX 上のスタンバイ ステートの VSM にセカンダリ HA ロールが割り当てられていることを前提としています。スタンバイ ステートの VSM にプライマリ ロールが割り当てられている場合は、フロー チャートのロールを置き換える必要があります。

図 5-1 VSM の Cisco Nexus Cloud Services Platform への移行



注意事項および制約事項

- 移行する VSM と Cisco Nexus Cloud Services Platform の両方で同じ管理 Virtual LAN (VLAN; 仮想 LAN) を使用する必要があります。
- 仮想サービスには VSM 仮想マシンで使用したのと同じ RAM サイズおよびディスク サイズを使用する必要があります。

Cisco Nexus Cloud Services Platform への VSM の移行

サービスを中断せずに VSM を Cisco Nexus Cloud Services Platform に移動または移行することができます。

はじめる前に

この手順を開始する前に、次のことを確認または実行する必要があります。

- プライマリおよびセカンダリ Cisco Nexus Cloud Services Platform を HA モードでインストールしていること。
- EXEC モードで Cisco Nexus Cloud Services Platform のコマンドライン インターフェイス (CLI) にログインしていること。
- ESX から移動または移行する VSM の名前を知っていること。
- Cisco Nexus 1000V ソフトウェアがすでにインストールされ、ESX サーバでリリース 4.2(1)SV2(2.1) にアップグレードされていること。
 - ソフトウェアのインストールについては、『*Cisco Nexus 1000V Software Installation and Upgrade Guide, Release 4.2(1)SV2(2.1)*』を参照してください。
 - アップグレードについては、『*Cisco Nexus 1000V Software Installation and Upgrade Guide, Release 4.2(1)SV2(2.1)*』を参照してください。
- セカンダリ仮想サービスを作成する場合は、プライマリ VSM に使用したのと同じ次の情報を使用します。
 - ISO ファイル名
 - 管理 IP アドレス
 - ドメイン ID
 - ホスト名
 - デフォルト ゲートウェイ
 - 制御 VLAN ID およびパケット VLAN ID



注意

ESX との不一致の原因となる値を使用する場合は、ESX と Cisco Nexus Cloud Services Platform の同期により Cisco Nexus Cloud Services Platform で設定が上書きされます。

- セカンダリ仮想サービスを作成する場合は、VSM VM に使用したのと同じ次の情報を使用します。
 - RAM サイズ
 - ディスク サイズ
- セカンダリ VSM をアクティブとして指定します。プライマリ VSM がアクティブの場合、セカンダリ VSM をアクティブに変更します。

手順の詳細

ステップ 1 ESX vSphere クライアントで、スタンバイ VSM を右クリックし、ドロップダウン リストから **power off** を選択します。スタンバイ VSM の電源がオフになります。

ステップ 2 ESX vSphere クライアントで、スタンバイ VSM を右クリックし、ドロップダウン リストから **delete from disk** を選択します。

スタンバイ VSM が ESX サーバから削除されます。モジュールが接続された ESX サーバでプライマリ VSM だけがアクティブになります。

ステップ 3 アクティブ Cisco Nexus Cloud Services Platform の CLI で、移行する VSM のプライマリ仮想サービスを作成します。セカンダリ VSM を作成するために使用したのと同じ情報を使用します。

Example:

```
switch# configure terminal
switch(config)# virtual-service-blade VB-1
switch(config-vs-b-config)# virtual-service-blade-type new new dcos_vsm.iso
switch(config-vs-b-config)# ramsize 2048
switch(config-vs-b-config)# disksize 4
switch(config-vs-b-config)# interface control vlan 1322
switch(config-vs-b-config)# interface packet vlan 1323
switch(config-vs-b-config)# enable primary
Enter domain id[1-4095]: 1322
Management IP version [V4/V6]: [V4]
Enter Management IP address: 10.78.109.67
Enter Management subnet mask: 255.255.255.224
IPv4 address of the default gateway: 10.78.109.65
Enter HostName: switch
Enter the password for 'admin': xz35vb1zx
switch(config-vs-b-config)#
```

ステップ 4 設定が完了したことを確認します。

Example:

```
switch(config-vs-b-config)# show virtual-service-blade summary
```

```
-----
Name                Role        State                Nexus1010-Module
-----
VB-1                PRIMARY    VSB DEPLOY IN PROGRESS  Nexus1010-PRIMARY
VB-1                SECONDARY  VSB NOT PRESENT        Nexus1010-SECONDARY
```

Example:

```
switch(config-vs-b-config)# show virtual-service-blade summary
```

```
-----
Name                Role        State                Nexus1010-Module
-----
VB-1                PRIMARY    VSB POWERED ON        Nexus1010-PRIMARY
VB-1                SECONDARY  VSB NOT PRESENT        Nexus1010-SECONDARY
```

プライマリ Cisco Nexus Cloud Services Platform で仮想サービスを作成すると、ESX のセカンダリ VSM と Cisco Nexus Cloud Services Platform のプライマリ仮想サービスとの間で HA ペアが形成されます。

ステップ 5 ESX 上のセカンダリ VSM の CLI で VSM の冗長ステータスを確認します。

出力が次のことを示す場合は、システム スイッチオーバーを続行できます。

- アクティブ VSM の存在
- HA スタンバイ冗長性状態のスタンバイ VSM の存在

```

Example:
switch# show system redundancy status
Redundancy role
-----
administrative: primary
operational: primary
Redundancy mode
-----
administrative: HA
operational: HA
This supervisor (sup-1)
-----
Redundancy state: Standby
Supervisor state: HA standby
Internal state: HA standby
Other supervisor (sup-2)
-----
Redundancy state: Active
Supervisor state: Active
Internal state: Active with HA standby

```

ステップ 6 ESX サーバ上のセカンダリ VSM の CLI で、Cisco Nexus Cloud Services Platform 上のスタンバイ仮想サービスへの手動スイッチオーバーを開始します。

```

Example:
switch# system switchover
-----
2009 Mar 31 04:21:56 n1000v %$ VDC-1 %$ %SYSMGR-2-HASWITCHOVER_PRE_START:
This supervisor is becoming active (pre-start phase).
2009 Mar 31 04:21:56 n1000v %$ VDC-1 %$ %SYSMGR-2-HASWITCHOVER_START:
This supervisor is becoming active.
2009 Mar 31 04:21:57 n1000v %$ VDC-1 %$ %SYSMGR-2-SWITCHOVER_OVER: Switchover completed.
2009 Mar 31 04:22:03 n1000v %$ VDC-1 %$ %PLATFORM-2-MOD_REMOVE: Module 1 removed (Serial
number )
switch#

```

次のステップに進む前に、スイッチオーバーが完了し、スタンバイ スーパーバイザがアクティブになるまで待機します。

スイッチオーバーが完了すると、次のことが起こります。

- ESX 上の VSM がリブートします。
- Cisco Nexus Cloud Services Platform 上の仮想サービス設定が ESX 上の VSM のものと一致するよう上書きされます。

この時点で Cisco Nexus Cloud Services Platform 上のプライマリ仮想サービスはアクティブ VSM になります。

ステップ 7 ESX vCenter クライアントで、スタンバイ VSM を右クリックし、ドロップダウン リストから **power off** を選択します。

スタンバイ VSM の電源がオフになります。

ステップ 8 ESX vCenter クライアントで、スタンバイ VSM を右クリックし、ドロップダウン リストから **delete from disk** を選択します。

スタンバイ VSM が ESX サーバから削除されます。

ステップ 9 アクティブ Cisco Nexus Cloud Services Platform の CLI で次のコマンドを使用して新しいセカンダリ仮想サービスを作成します。プライマリ仮想サービスを作成するために使用したのと同じ情報を使用します。

出力に示されるコマンドを入力後に、Cisco Nexus Cloud Services Platform により追加情報を入力するよう求められます。

アクティブ Cisco Nexus Cloud Services Platform でセカンダリ仮想サービスを作成すると、Cisco Nexus Cloud Services Platform 上のプライマリ仮想サービスとセカンダリ仮想サービスとの間で HA ペアが形成されます。

```
Example:
switch# configure terminal
switch(config)# virtual-service-blade VB-1
switch(config-vsbl-config)# enable secondary
Enter vsb image: [dcos_vsm.iso]
Enter domain id[1-4095]: 1322
Management IP version [V4/V6]: [V4]
Enter Management IP address: 10.78.109.67
Enter Management subnet mask length: 27
IPv4 address of the default gateway: 10.78.109.65
Enter HostName: switch
Enter the password for 'admin': xz35vblzx
```

ステップ 10 設定が完了したことを確認します。

```
Example:
switch(config-vsbl-config)# show virtual-service-blade summary
-----
Name                Role        State                Nexus1010-Module
-----
VB-1                PRIMARY    VSB POWERED ON      Nexus1010-PRIMARY
VB-1                SECONDARY  VSB DEPLOY IN PROGRESS Nexus1010-SECONDARY
```

これで手順は完了です。

VSM が ESX ホストから Cisco Nexus Cloud Services Platform に移行されました。

移行の確認

移行を確認するには、次のコマンドを使用します。

| コマンド | 目的 |
|---|--|
| <code>show virtual-service-blade summary</code> | 各仮想サービスの冗長ステート（アクティブまたはスタンバイ）と冗長ロール（プライマリまたはセカンダリ）を表示します。 例 5-1 (P.5-6) を参照してください。 |
| <code>show system redundancy status</code> | Cisco Nexus Cloud Services Platform の冗長ステート（アクティブまたはスタンバイ）と冗長ロール（プライマリまたはセカンダリ）を表示します。 例 5-2 (P.5-7) を参照してください。 |

例 5-1 仮想サービス ブレードの設定

```
switch(config-vsbl-config)# show virtual-service-blade summary
-----
Name                Role        State                Nexus1010-Module
-----
VB-1                PRIMARY    VSB NOT PRESENT      Nexus1010-PRIMARY
```

```
VB-1                SECONDARY    VSB DEPLOY IN PROGRESS    Nexus1010-SECONDARY
```

```
switch(config-vsbs-config)# show virtual-service-blade summary
```

```
-----
Name                Role        State        Nexus1010-Module
-----
VB-1                PRIMARY    VSB NOT PRESENT    Nexus1010-PRIMARY
VB-1                SECONDARY  VSB POWERED ON    Nexus1010-SECONDARY
```

例 5-2 システム設定

```
switch# show system redundancy status
Redundancy role
-----
administrative: primary
operational: primary
Redundancy mode
-----
administrative: HA
operational: HA
This supervisor (sup-1)
-----
Redundancy state: Standby
Supervisor state: HA standby
Internal state: HA standby
Other supervisor (sup-2)
-----
Redundancy state: Active
Supervisor state: Active
Internal state: Active with HA standby
```

仮想スーパーバイザ モジュールの Cisco Nexus Cloud Services Platform から ESX サーバへの移行

Cisco Nexus 1000V 仮想スーパーバイザ モジュール (VSM) を Cisco Nexus Cloud Services Platform から ESX サーバに移動または移行することができます。

はじめる前に

この手順を開始する前に、次のことを確認または実行する必要があります。

- プライマリおよびセカンダリ Cisco Nexus Cloud Services Platform を HA モードでインストールします。
- プライマリ VSM をアクティブに、セカンダリ VSM をスタンバイにします。
- ESX サーバ上で、アップリンクが VSM の制御 VLAN、管理 VLAN、パケット VLAN の移行を許可することを確認します。
- Cisco Nexus Cloud Services Platform の CLI に EXEC モードでログインします。
- ESX サーバから移動または移行する VSM の名前を知っていること。

手順の詳細

- ステップ 1** Cisco Nexus Cloud Services Platform のセカンダリ VSM の CLI から、Cisco Nexus Cloud Services Platform 上のセカンダリのスタンバイ VSM をシャットダウンします。
- config terminal**
- virtual service blade name**
- shutdown secondary**
- ステップ 2** ESX サーバ上にセカンダリ VSM を作成します。ESX サーバにインストールされている VSM のリリース番号は、Cisco Nexus Cloud Services Platform にインストールされている VSM と同じである必要があります。
- ESX サーバにソフトウェアをインストールする方法の詳細については、『Cisco Nexus 1000V Software Installation and Upgrade Guide, Release 4.2(1)SV2(2.1)』を参照してください。
- ステップ 3** ESX サーバにセカンダリ VSM を作成する場合は、Cisco Nexus Cloud Services Platform にプライマリ VSM を作成するときを使用したのと同じ次の情報を使用します。
- ISO ファイル名
 - 管理 IP アドレス
 - 管理 VLAN ID
 - ドメイン ID
 - ホスト名
 - デフォルト ゲートウェイ
 - 制御 VLAN ID およびパケット VLAN ID
- ステップ 4** セカンダリ VSM を作成する場合は、Cisco Nexus Cloud Services Platform 上の VSM に使用したのと同じ次の情報を使用します。
- RAM サイズ
 - ディスク サイズ
- ステップ 5** ESX vSphere クライアントで、セカンダリ VSM を右クリックし、ドロップダウン リストから **power on** を選択します。Cisco Nexus Cloud Services Platform 上のプライマリ VSM と ESX サーバ上のセカンダリ VSM との間に HA 通信があることを確認します。
- ステップ 6** ESX サーバ上のセカンダリ VSM をアクティブに指定します。
- ステップ 7** プライマリ Cisco Nexus Cloud Services Platform の CLI から次のコマンドを使用して、Cisco Nexus Cloud Services Platform 上のプライマリ VSM をシャットダウンします。
- config terminal**
- virtual service blade name**
- shut primary**
- ステップ 8** この手順でセカンダリ VSM の作成に使用したのと同じパラメータを使用して、ESX 上にプライマリ VSM を作成します。
- ステップ 9** ESX vSphere クライアントで、プライマリ VSM を右クリックし、ドロップダウン リストから **power on** を選択します。
- プライマリ VSM の電源がオンになります。
- ステップ 10** Cisco Nexus Cloud Services Platform の CLI から次のコマンドを使用して、VSM を削除します。
- config terminal**

no virtual service blade *name*

VSB が Cisco Nexus Cloud Services Platform から ESX サーバに移行されました。

これで手順は完了です。

その他の関連資料

VSM への移行に関する詳細情報については、次の項を参照してください。

- 「関連資料」(P.5-9)
- 「移行機能の履歴」(P.5-9)

関連資料

| 関連項目 | 参照先 |
|---|---|
| ソフトウェアの設定 | 『Cisco Nexus Cloud Services Platform Software Installation and Upgrade Guide』 |
| 仮想サービス設定 | 「仮想サービス ブレードの設定」の章 |
| Cisco Nexus Cloud Services Platform のインストール | 『Cisco Nexus Cloud Services Platform Hardware Installation Guide』 |
| Cisco Nexus Cloud Services Platform コマンド | 『Cisco Nexus Cloud Services Platform Command Reference』 |

移行機能の履歴

ここでは、移行機能のリリース履歴について説明します。

| 機能名 | リリース | 機能情報 |
|--------|--------------|---------------|
| VSM 移行 | 4.0(4)SP1(1) | この機能が導入されました。 |

